

## H28年1月 冬鳥観察「池島遊水池周辺で冬鳥を見よう」

開催日 : 平成28年1月17日(日) 10:00~12:00 天気:晴時々曇

下見 同 1月10日(日) 10:00~12:00 天気:晴時々曇

下見スタッフ : 12名

本番参加 : 参加者12名 (大人 1名、スタッフ 11名)

実施場所 : 池島遊水池周辺(東花園駅から池島遊水池)

経過 :

- ・10:00~近鉄東花園駅改札口に集合 (スタッフ集合 9:30)
- ・10:00~あいさつ、スケジュールと注意事項説明
- ・10:10~恩智川沿いに野鳥を観察しながら池島遊水池まで歩く
- ・12:00~鳥合わせ

内容 :

- ① 当日 J:COM 東大阪より TV 取材があり終始同行した。
- ② 恩智川沿いから池島遊水池にかけて野鳥・水鳥を、双眼鏡、フィールドスコープで観察した。
- ③ フィールドスコープは、保全協会から借りた4台と個人の1台を合わせほぼ2人に1台を使用できたので、特に、双眼鏡では判別困難な、形、模様、色などが判別でき威力を発揮した。
- ④ 田植えの際にケリの巣を壊さないよう避けて作業を行ったらしく、稲刈りの後に丸く稲が植わっていない部分が残っていた。ケリは、留鳥で周辺の田畑や河原で常時見ることができるが、農家の方の気心を知ることができた。
- ⑤ J:COM 東大阪の方からの事前打ち合わせの中で、ムクドリとかカモは、シベリアから来るのですかと質問を受け答えられなかった。  
渡りの鳥たちは、私たちが行ったことのないところから来ているのにその疲れを見せないことがすごいと思う。後で調べると、ムクドリは、北日本、シベリア、中国北部。カモ類は、アムール川からシベリア、カムチャッカから来るらしい。
- ⑥ カワセミのオスが、長時間コンクリート堤に姿を見せてくれた。餌の魚がないので動けないらしい。下見の時にいたカイツブリは、本番では姿を見せなかった。
- ⑦ 冬鳥の象徴、モズやツグミが下見、本番と姿を見せてくれた。
- ⑧ カワラヒワの大きな群れが、下見、本番と乱舞して楽しませてくれた。
- ⑨ 本番でチョウゲンポウの飛ぶ姿を確認した。1Km 南のゴミ焼却場にハヤブサが営巣しているのは有名であるが、結果、小鳥たちは群れをなし、カモたちの姿が少なくなっている。
- ⑩ 弥生橋の上から、枯れたヨシの間を動いていた美しいベニマシコとアオジを確認した。みんなで感動した。

- ⑪ 帰途、ヨシ原の干潟部分でタシギが餌を探しているところを発見。コガモに比べ小さく見つけにくい。
- ⑫ 池島遊水池常連のコサギが帰りにやっと1羽現れた。オオバンも姿を見せないしカルガモも夏秋に比べ数が激減していた。
- ⑬ 下見では、ジョウビタキの雄が長時間姿を見せてくれた。美しい姿に見とれてしまった。

鳥合せ：

<下見>

ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、カイツブリ、キジバト、カワウ、アオサギ  
コサギ、ノスリ、カワセミ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ムクドリ、ツグミ  
ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、カワラバト / 24種

<本番>

ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、オナガガモ、コガモ、アオサギ、ダイサギ、コサギ、ケリ  
タシギ、トビ、カワセミ、チョウゲンボウ、モズ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ヒヨドリ  
ムクドリ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ、ベニマシコ  
アオジ、オオジュリン、カワラバト / 27種

# 池島遊水池周辺で冬鳥たちを見よう ①

2016年 1月 17日 晴れ

参加された皆さん



恩智川のハクセキレイ



鉄塔に止まるムクドリ



モズ



カワセミ 餌待ってます



カワセミ まだ餌待ってます



オナガガモ



# 池島遊水池周辺で冬鳥たちを見よう ②

2016年 1月 17日 晴れ

橋から落ちないように！！



コサギの飛翔



コガモとタシギ大きさ比べ



コガモの競争



タシギ かわいいでしょう



カワラヒワの群れ



ツグミ追っかけています



ケリの巣のあと



スズメの群れ

